

編集後記

幼稚園の先生になって約一年。学年末の終業式を終え、保育室にもどると保護者の方が皆揃って待っていて下さいました。『もも組』のお別れ会が始まりました。

私が勤めていた幼稚園は、三歳児学級が五クラス、四歳児学級が三クラスで、三歳児学級の担任五人のうち二人はもう一年、三歳児学級の担任になることになっていました。新人が残るのが慣例でしたので、私の子どもたちと一緒に学年が上がることはないと、保護者の方も私もお互いに了解していました。

いつも一緒に歌ってきた曲を、その日は一人、観客になって聴かせて

もらいました。入園式の前、震える手で名札を付けた同じ保育室で、今度は私が子ども一人ひとりからチューリップを受け取りました。

思いがけない贈り物に、子どもでいた間のどの卒業式よりも、たくさん涙がこぼれました。

他のクラスのお母様の言葉ですが、「一年目の先生に受け持たれるは恵」とおっしゃる方がありました。幼稚園の先生になりたてのパワーのようなものを信じて下さるということでした。決して誇れる保育ができたわけではないだけに、この時は、大変励まされました。

「保護者の方に育てて頂いた」という言葉を同じ幼稚園の先輩から伺ったことがあります。保護者の立場となり、先生をも応援し続けられるようにと思っています。(河合)

幼児の教育

第一〇四巻 第三号

(二〇〇五年三月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十七年三月一日

編集兼発行人 浜口順子

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8600 東京都文京区大塚二-1-1

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-1860 東京都港区三田五-1-1

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一-四一九

☎〇三-五三九五-六六一三(営業)

☎〇三-五三九五-六六〇四(編集)

振替 〇〇一九〇-1-19640

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所「フレーベル館」にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。